

平成26年度 自己点検・自己評価

平成26年度自己点検自己評価(平成26年4月1日～平成27年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
		非常に良い …5 良い …4 適切である …3 課題がある …2 改善が必要 …1		
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4	<input type="checkbox"/> 学園の理念に沿った目標を掲げ取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 理念等は文書し明確に定めている。 <input type="checkbox"/> 美容系分野の養成校として特性が表れている。 <input type="checkbox"/> 実学と人間教育、国際性を身につける教育体系が組んでいる。 <input type="checkbox"/> 養成目的、教育目標、シラバスが計画に基づいて実施されている。 <input type="checkbox"/> 学生・保護者への浸透はある程度はかかれている。関連業界等についてはバラつきがみられる。 <input type="checkbox"/> 浸透度の確認については明確な方法を用いていない。	教育理念に対する理解と想いに個人差がある。教員経験の長短以外の差を如何に無くすかが課題である。今後は教職員研修の定期実施と事例研究の実践を行う。
	1-2 学校の特色は何か	4	問題解決技法をもとに体験学習(学生サロン)の機会を学年歴に積極導入している。	今後は教育活動を特定職員だけでなく様々な職員が交互に担当する制度の確立を行う。
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	4	<input type="checkbox"/> 中期的(3～5年程度)な視点として事業計画勉強会を開催している。 <input type="checkbox"/> 学校・学科レベルにおいても事業計画を策定し組織内での周知がなされている。 <input type="checkbox"/> 将来構想を学生・保護者・関連業界が知る機会は少ない。	HP上での閲覧などが可能になるよう、セキュリティ設定したうえで公開していきたいと考えている。
2 学校運営	2-4 運営方針は定められているか	4	<input type="checkbox"/> 事業計画に基づき、運営方針を文書化し「理念」「目標」「計画」について明確に文書化し、周知、浸透の機会を常に設けている。 ・文書としての配布 ・勉強会の実施 ・全体研修での周知と理解度確認を実施。	周知は徹底できているが、職員の理解度・実践度は個人差があり、これを向上させることが課題となっている。年度当初の研修だけでなく、期の途中にも改めて理念を確認できる場を作っていく。
	2-5 事業計画は定められているか	3	<input type="checkbox"/> 中期計画(3～5年程度)を定め周知のための勉強会も設定している。 <input type="checkbox"/> 中期計画からブレイクダウンした単年度計画も明確に定められている。 <input type="checkbox"/> 事業計画に予算、事業目標等を数値で明示。 <input type="checkbox"/> 事業計画の執行体制においては、「組織役割表」設定し明確化している。 <input type="checkbox"/> 執行・進捗管理状況は予算においては「毎月」、事業計画においては「半年」を目安に見直しを機会を設けている。	身近な業務ルーティンが優先され、必ずしも事業計画を常に念頭に置いた業務遂行がなされているとは限らない。入職歴などにより、個人差もあるというのが現状である。常に判断基準として指標となるような環境づくりに課題が残る。学科単位、部署単位でも定期的な検討会が行われることで、意識の向上と組織文化の定着をはかりたい。
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	5	<input type="checkbox"/> 組織体系の整備、役割の明確化もされている。 <input type="checkbox"/> 毎年の事業計画に基づいた新年度組織図が作成され、教職員に開示されている。 <input type="checkbox"/> 各部署の組織役割表を基に明確化されている。 <input type="checkbox"/> 会議、委員会等の職務分掌を規定し、意思決定のプロセスを明確化している。 <input type="checkbox"/> 会議、委員会等の議事録(記録)は、必要に応じて作成・保存している。 <input type="checkbox"/> 組織運営のための規則・規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正されている。	部署内の連携については定例化されているが、部署や役割を超えたコミュニケーションの機会設定については、更なる向上のためには、改善したい課題がある。マネージャー同士では運営会議の場があるが、若いスタッフ間では行事ごとのプロジェクトを組む機会を増やすなど対応していきたい。
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	3	<input type="checkbox"/> 採用基準・採用手続きいずれも明確に規定されている。 <input type="checkbox"/> 常に能力ある人材の確保については継続しているが、理想に合致した採用計画の遂行と維持には困難を感じる。 <input type="checkbox"/> 給与支給等に関する基準・規程を整備し、労働条件通知書をもって明確化している。 <input type="checkbox"/> 昇任・昇給の基準を規程等で明確化している。 <input type="checkbox"/> 評価システムを規定し、数値目標での評価と情意効果の両面で評価している。	評価については、評価基準を明確化しているが、前年の結果を翌年の目標設定に生かすことについては課題が残る。目標設定時点での意思疎通をはかり、前年度の評価を確実にフィードバックを行いたい。そして就業規則の厳格な施行を行う。

	2-8 意思決定システムは確立されているか	4	<input type="checkbox"/> 教務においては学校長が主催する進級・卒業判定会議にて意思決定する。 <input type="checkbox"/> 財務等の事務処理においては事務局長の決済のもと意思決定がなされている。 <input type="checkbox"/> 組織図と職務分掌において規定されている。	「学校組織の整備」に示された学園組織全体の組織体系と職務分掌により明確に規定され、コンプライアンス順守のチェック機能においても複数のセキュリティ機能があり、組織上の大きな課題はないと考える。
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	<input type="checkbox"/> 学生に関する情報管理システムはAS400システムにて本部とも連動し、セキュリティシステム及びデータバックアップシステムとも整備されている。 <input type="checkbox"/> 学生個々の重要な個人情報に伴うので、専用プリンターの設定やアクセス権限に制限を設けているが、要求に応じて出力できる体制がある。 <input type="checkbox"/> H24からiPadによる出席管理システムを導入し、リアルタイムでの出席管理が可能となった。	セキュリティを重要視する反面、学生からの要求に瞬時に適切に対応できるよう、一斉のアクセス権限を設定したまま、教職員の個人PCからも必要かつ業務範囲内のデータにアクセスできるように整備していく。
3 教育活動	3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	年度後半に当該年度を検証し、教育課程編成委員会のご意見を加味して次年度の新しいカリキュラムに反映させている。	業界の変化をカリキュラムに反させるスピードが課題である。キャリアセンターを中心に業界の声を集約するシステム構築する。
	3-11 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか	5	<input type="checkbox"/> 各学科各学期ごとに到達目標を設定 <input type="checkbox"/> 教育目標に照らし合わせて設定している <input type="checkbox"/> 資格免許の担当教員を選任し入学段階よりフロー教育プログラムにしている <input type="checkbox"/> 資格取得のための対策講座と補習プログラムを確立している	特になし
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	4	<input type="checkbox"/> 翌年の教育課程編成する際に学科長がカリキュラムプレゼンを学校責任者に実施している。 <input type="checkbox"/> 教員・時間数は法定要件を満たした上で一般科目をバランス良く配分している。 <input type="checkbox"/> 教育課程に明記 <input type="checkbox"/> 目標に沿ってその分野のスペシャリストである講師がシラバスを作成し授業を運営。 <input type="checkbox"/> 到達目標の設定に基づき適切に授業形態を選択している <input type="checkbox"/> 授業内容に適切にグループワークなどを取り入れて指導方法に変化を持たせている <input type="checkbox"/> MMPプログラムの実践とキャリア教育の視点で科目ごとに配分している	入学する学生の性質が幅広くなり、集団生活の困難な学生やコミュニケーション力の低い学生・低学力・低技術学生・精神的に問題を抱えた学生等の対策が課題である。学生個々に差が出ないよう基礎力をつける段階で個別に課題をクリアさせるシステムの構築を目指す。
	3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	5	<input type="checkbox"/> ポートフォリオを活用し職業実践教育をプログラム化している。 <input type="checkbox"/> シラバス・コマシラバスともに作成している <input type="checkbox"/> 年度ごとに見直し改定を行っている。	特になし
	3-14 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか	4	<input type="checkbox"/> カリキュラム作成段階において、業界・在校生・卒業生・競合校の変化をキャッチしカリキュラムの改定に反映している。 <input type="checkbox"/> 離職状況の調査を通して離職の理由からブラッシュアップのポイントを評価している。 <input type="checkbox"/> キャリア教育の定義としての5つの現場力の力を明確化しその定義に沿って評価している。 <input type="checkbox"/> ポートフォリオの活用計画を作成し段階を追って活用している。	キャリアセンターを中心に業界の声を集約するシステム構築する。「辞めない」プログラムを全学生に実施する。
	3-15 授業評価の実施・評価体制はあるか	4	<input type="checkbox"/> 授業アンケートを年間2回実施し、その都度担当講師にフィードバックを実施している。 <input type="checkbox"/> 授業の集大成としての位置づけである、ベルエポックコンテストを業界プロにも審査して頂いている。	ベルエポックコンテスト札幌地区予選での業界からの評価を学校全体で共有できていない。予選会終了時点での学校全体での振り返りが必要となる。

	3-16 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	5	<input type="checkbox"/> 法定科目はコンプライアンスに沿って、一般科目は経験と教授能力で選任している。 <input type="checkbox"/> 履歴書・資格書の提出を持って確認している。 <input type="checkbox"/> 業界での経験を重視し適合しているかを確認している。 <input type="checkbox"/> 業界講師や業界に人材の紹介を依頼している。 <input type="checkbox"/> 10月より次年度に向けての配置計画を行っている。 <input type="checkbox"/> 毎年明示している。 <input type="checkbox"/> 募集・採用・昇給の規定は明文化している。 <input type="checkbox"/> 業務役割分担と講師時間割にて把握している。	学生に講義をするには、よりその業界の現状に則した内容を教授できる事が理想である。現在採用している講師は、実技系科目は特に、現場で活躍している現役の講師を組織している。また、講師に対しては、年に二度授業アンケートを学生に実施し、授業評価を行い、全ての講師に対してフィードバックしている。
	3-17 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	<input type="checkbox"/> 学則及び学則施行細則にて明記し全学生に配布している。 <input type="checkbox"/> 試験規定を作成しその基準に準拠し公正公平に評価している。また、進級や卒業については判定会議を実施している。 <input type="checkbox"/> 学則に単位読み替えについて明文化している。	特になし
	3-18 資格取得の指導体制はあるか	4	<input type="checkbox"/> 業務役割分担表に担当スタッフを選任し複数の担当教員と連携し受験指導をマネジメントしている。 <input type="checkbox"/> 希望者に受講スケジュールを案内しフォローしている。	美容師国家試験の合格率向上のためのシステム作りが必要となる。ベルエポック美容4校が連携して国家試験100%達成にむけたシステムを構築する。
4 教育成果	4-19 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	<input type="checkbox"/> 就職目標を設定している。 <input type="checkbox"/> 就職活動状況表にてリアルタイムに把握している。 <input type="checkbox"/> 第一専門職の業界とは常に情報共有し就職状況を把握している。 <input type="checkbox"/> 業界団体のセミナーや本校主催のセミナーなどを実施している。 <input type="checkbox"/> 月に2回数値データとして管理している。	キャリアセンターと担任の連携強化と年間スケジュールの見直しを行う。
	4-20 資格取得率の向上が図られているか	4	<input type="checkbox"/> 資格取得目標を設定している。 <input type="checkbox"/> 必修資格はカリキュラムに対策講座を組み込み、選択資格は放課後に対策授業を実施している。 <input type="checkbox"/> 全国と北海道どちらも比較を行っており国家試験は全国でもトップクラスの合格率である。 <input type="checkbox"/> 国家試験対策会議を定例で実施し改善を図りながら指導している。	開校以来、高い国家試験合格率を継続している。道内の最新の平均合格率と比較しても高い実績である。国家試験取得を目標に学生を指導し主体的に受験する文化も醸成されている。今後も高い合格率を継続するべくシステムのブラッシュアップと人材の育成を継続していく。
	4-21 退学率の低減が図られているか	4	<input type="checkbox"/> 中途退学者の傾向・分析を毎年総括している。 <input type="checkbox"/> 学生指導の履歴を月2回状況表に記入し保存している。 <input type="checkbox"/> SSOを中心に学生支援体制を構築している。 <input type="checkbox"/> キャリアサポートアンケートを実施・分析方法の勉強会を実践し指導している。	退学までは至らないが転科・転校する学生が毎年二十数名～三十数名いる。入学前からのカウンセリング、入学直後のオリエンテーション、普段の学生支援・・・学生1人ひとりをスタッフ全員でフォローで支援するシステム構築する。
	4-22 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	5	<input type="checkbox"/> 就職先訪問と卒業生からの情報で卒業後の離職状況を把握している。 <input type="checkbox"/> コンテストでの支援や受賞状況は常に把握できている。	在学中の教育と、卒後の同窓会などによるフォロー体制の構築する。
	5-23 就職に関する体制は整備されているか	4	<input type="checkbox"/> キャリアセンターを中心に卒業年次生担任が連携し就職プロジェクトを組織し就職支援している。 <input type="checkbox"/> 就職プロジェクトを月2回実施し連携体制を構築している。 <input type="checkbox"/> 共通のファイルで常に閲覧可能な状態である。 <input type="checkbox"/> 就職決意式・グループディスカッションを開催している。 <input type="checkbox"/> 就職講座と個別指導で実践している。 <input type="checkbox"/> 個別面談は随時行っており適切に対応している。	卒業式までに就職希望者を全員内定させることを目指している。就職プロジェクトの内容見直しを図る。

5 学生支援	5-24 学生相談に関する体制は整備されているか	5	<input type="checkbox"/> 学内にSSOを開設し支援体制を構築している。 <input type="checkbox"/> 計画的にSSCの学生への案内活動を行い利用しやすい環境を構築している。 <input type="checkbox"/> 相談記録は閲覧を制限する形で保存している。 <input type="checkbox"/> カウンセラーの見立てによって適宜促しをしている。 <input type="checkbox"/> 卒業生にも必要に応じて対応している。	特になし
	5-25 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	5	<input type="checkbox"/> 必要に応じて滋慶特別奨学金の活用を行っている、また大規模災害時や家計急変時には適宜支援している。 <input type="checkbox"/> 募集要項に減免制度を明記し運用している。 <input type="checkbox"/> 公的支援制度を適切に活用し適切に利用するように学生指導している。 <input type="checkbox"/> 学生・保護者に適宜文書と口頭で情報提供している。 <input type="checkbox"/> 経済支援制度の利用一覧を作成し実績をリアルタイムで把握している。	特になし
	5-26 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	5	<input type="checkbox"/> 健康診断を計画的に実施し、有所見者の再健診を徹底し結果を把握し必要な処置を講じている。 <input type="checkbox"/> 学校医は選任していないが医務室を常設し、外傷薬に関しては常に整備している。 <input type="checkbox"/> 健康管理は就職活動に関連付けて啓発しており、心身の健康相談についてはSSCが兼ねている。 <input type="checkbox"/> 近隣に指定医療機関を置いている。	特になし
	5-27 課外活動に対する支援体制は整備されているか	5	<input type="checkbox"/> 各クラブに顧問を選任し活動状況を把握している。 <input type="checkbox"/> 大会の際は引率・大会準備を含めて支援を行っている。	特になし
	5-28 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	<input type="checkbox"/> 独自の学生寮を整備している。 <input type="checkbox"/> 寮との会議を定例で開催しており必要事項の共有を行っている。 <input type="checkbox"/> 寮会議での議事にて明確になっている。	特になし
	5-29 保護者と適切に連携しているか	4	<input type="checkbox"/> 保護者会を実施するとともに計画的に保護者便りを送付している。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて保護者に連絡し面談の内容の記録を保存している。 <input type="checkbox"/> 学生の学力支援・心理支援双方において保護者に開示し協力体制の構築に勤めている。 <input type="checkbox"/> 緊急連絡先(自宅・携帯・勤務先)をファイルしている。	保護者会への出席数が毎回30名程度であるため、もっと参加していただくために時期・内容の再検討を行う必要がある。
	5-30 卒業生への支援体制はあるか	3	<input type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況の履歴を残している。 <input type="checkbox"/> 卒業生への就職相談に常に応じている。 <input type="checkbox"/> 同窓会と同時日程で講座を開講している。 <input type="checkbox"/> コンテスト対策などの支援を行っている。	卒業後1年以内の離職0名を目指しているなかでまだ課題が残る。在学中+卒業後の支援体制の強化を実施する。
6 教育環境	6-31 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	5	<input type="checkbox"/> 施設設備は毎年整備し且つ法令も遵守している。 <input type="checkbox"/> 図書や実習機材器具についても整備している。 <input type="checkbox"/> 休憩の学生ホールを整備している。 <input type="checkbox"/> 手すりや段差の少ない構造にしている。 <input type="checkbox"/> 手洗いは常に行い食中毒などの感染症の予防に努めている。 <input type="checkbox"/> 卒業生にも希望に応じて施設を貸し出している。 <input type="checkbox"/> 施設設備の点検は専門の業者に委託している。 <input type="checkbox"/> 年度毎に不具合箇所を洗い出し改築・改修を行っている。	特になし
	6-32 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	<input type="checkbox"/> 教育・就職スケジュールの中で重要性や意義・目的を明確にしている。 <input type="checkbox"/> 企画書・実習ノートを整備し適切に運用している。 <input type="checkbox"/> 企業に受け入れをしていただき研修を実施している。 <input type="checkbox"/> 現場力育成の定義に則り5段階で評価して頂き、規定日数の実習実施と報告書の提出を持って評価している。 <input type="checkbox"/> 各実習先に担当の教職員が実習期間中に訪問する。 <input type="checkbox"/> 評価表と実習日誌の表記内容を確認し教育効果を確認している。 <input type="checkbox"/> 学生が自ら考える機会を考慮し行事に参画させている。 <input type="checkbox"/> 目的に沿って対象を吟味し案内している。	学外実習は各学科で各々企画をしている。インターンシップはキャリアセンター主導のもと統一ルールで実施をしている。海外研修は入学当初から募集をしているが年々縮小傾向にある。今後は、学校としての実習という位置づけのためのシステムが必要であり、海外研修の魅力的なプログラム作りが必要となる。

	6-33 防災に対する体制は整備されているか	5	<input type="checkbox"/> 学園より学生・職員に対する防災マニュアルの配布し施設内に避難誘導整備を行っている。 <input type="checkbox"/> 耐震構造の建物である定期的に点検し改善を行っている。 <input type="checkbox"/> 避難訓練とAED研修を年1回消防の立会いのもと実施している。 <input type="checkbox"/> ロッカーの転倒・滑り止めの対策を行っている。 <input type="checkbox"/> 学生・教職員に防災訓練と教育を実施している。 <input type="checkbox"/> 学校の安全計画と緊急時の対応方法を確立し整備している。 <input type="checkbox"/> 学校校門のセキュリティと校内のセーフティBOXの設置にて対応している。 <input type="checkbox"/> 整備しており事故後はその報告を所定のフォーマットにて報告し適切に対応しているかチェックしている。	特になし
7 学生の募集と受け入れ	7-34 学生募集活動は、適正に行われているか	2	<input type="checkbox"/> 北海道私立専修学校各種学校連合会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容を遵守している。(社会人入試は4/1、AO入試は8/1、その他は10/1から受付開始) <input type="checkbox"/> 志願者からの相談に関してはフリーダイヤルの他、メールでも対応できる体制を確保。また、年間90回のオープンキャンパスを開催し、常に来校して相談できる環境を整えている。全教職員に対して広報に関する勉強会を実施し、誰でも対応できる体制にしている。 <input type="checkbox"/> 校内に個人情報保護委員会を設置し、管理と研修の徹底を図っており、TRUSTeプライバシー・プログラムのライセンスを取得している。	数年間、定員を充足していない。更なる募集活動の工夫が必要であり、広報をシステマチックに実施する必要ある。
	7-35 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	<input type="checkbox"/> 学校案内等において具体的な就職データ、資格取得データを明記し、正確に情報を伝えている。	特になし
	7-36 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	<input type="checkbox"/> 入学選考基準・方法は学則及び募集要項に明記している。 <input type="checkbox"/> 入学試験後に全学科長及び学校責任者、広報責任者により構成される、「選考会議」で基準に基づいて公平に可否を確定している。	将来の希望分野への適性をきちんと見極めるため、選考評価表と受験生カルテ(資料請求時から体験入学参加記録、電話やメールでのやり取りを書き留めたもの)を調査書同様に重視して選考している。結果として、学力のみにとらわれない、やる気(モチベーション)の高い学生確保に役立っている。また、24年度生広報より、AO入試では学力(=調査書)に捉われず、キャリア教育の一環として、やる気をより重視した学生確保にチャレンジしている。
	7-37 学納金は妥当なものとなっているか	5	<input type="checkbox"/> 学納金や預かり金、教材及び講師の見直しを、毎年全学科長及び学校責任者、学生サービスセンター責任者、広報責任者が参加する会議にて行っており、学費及び諸経費の無駄な支出がないかチェックしている。 <input type="checkbox"/> 競合する他校の学納金を調査し、適正な学納金を定めている。 <input type="checkbox"/> 徴収する金額は募集要項上にすべて記載している。	<input type="checkbox"/> 徴収する金額の明記について、諸費用に関しては教科書等の価格により変動があるので募集要項上では「年間〇〇万円程度」と表記しているが、入学が決まった受験生には毎年2月に確定金額を通知している。
8	8-38 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5	<input type="checkbox"/> 毎年事業計画書を作成し、5か年の収支予算を立てている。その中で入学者数、在校生数、退学者等を勘案して学費明細を作成し、収入予算の推移を把握している。また新学科構想、設備について計画し、支出予算を作成している。 <input type="checkbox"/> 借入金等長期資金の計画については、都道府県の基準の範囲内で計画・実行している。これらは理事会・評議員会にて承認、報告がなされている。	キャッシュフロー、資金収支の視点を、学校運営関係者全員で共有する必要がある。研修、勉強会等を充実させる必要があると考える。
	8-39 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	5か年の収支予算を作成し、毎年更新される。将来の学生数予測に基づき、収入予算が作成される。また、新学科構想、設備支出等を勘案し支出予算となる。	環境の変化が激しく正確な予算作成が難しくなっている。詳細な資料の入手及び分析のための体制作りが必要と考える。

財務	8-40 財務について会計監査が適正に行われているか	5	体制を整えるべく、学校法人滋慶学園は公認会計士による監査と監事による監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会においてその報告をしている。	適正な計算書類の作成は法人等の責任であり、それによって監査も効率的に行うことができると考える。さらに効率的かつ有効的な経理処理システムを構築していかなければならない。
	8-41 財務情報公開の体制整備はできているか	4	私立学校法に基づく財務情報公開体制が整備されている。 外部関係では寄附行為の変更認可及び行政への届出、そして内部関係では財務情報公開規程及び情報公開マニュアルを作成し、財務情報公開体制を整備した。 財務情報はHPで公開している。	学校統括責任者のみならず、全ての教職員への周知徹底が必要不可欠である。教職員に対するさらなる研修が必要と考えている。
9 法令等の遵守	9-42 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5	<input type="checkbox"/> 法人において、法令や設置基準の遵守に対する方針を「コンプライアンス推進規程」として整備し、届出等を適切に実施している。 <input type="checkbox"/> ハラスメント防止に関する規定を就業規則に明記している。 <input type="checkbox"/> SSC(スチューデントサービスセンター)が相談窓口となっている。 <input type="checkbox"/> 法令順守に関する教育を実施している。	特になし
	9-43 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	<input type="checkbox"/> 個人情報は、校内に個人情報保護委員会を設置し、厳重に管理し、研修の徹底を図っている。 <input type="checkbox"/> 個人データを蓄積した記録の取り扱いに関しては、外部のインターネットとつながらない独自のシステム(AS400)にて適正に管理し、認証を受けた者以外が情報を見ることができない仕組みになっている。 <input type="checkbox"/> サイトの運用にあたっては、TRUSTeプライバシー・プログラムのライセンスを取得し、適正に行なわれている。 <input type="checkbox"/> 教職員に対しては、就業規則等にも個人情報保護を明記すると共に、定期的な教育・研修を実施している。	特になし
	9-44 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	5	<input type="checkbox"/> 実施に関し、評価規定の整備を行なった。 <input type="checkbox"/> 今回初めての自己評価実施に向けて、組織体制を整備した。 <input type="checkbox"/> 評価結果からあがった改善に対してすぐにカリキュラム変更を行ない対応した。	特になし
	9-45 自己点検・自己評価結果を公開しているか	5	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書にまとめ、HPに公開している。	特になし
10 社会貢献	10-46 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	<input type="checkbox"/> 学園のミッションに「業界の信頼」「地域の信頼」「業界の信頼」を掲げており、学校をあげて積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 地域へは、年6回実施する学生サロンを提供。業界へは、検定試験会場など設備を提供。卒業生へは日々、技術練習のために実習室及び就職情報提供のため、キャリアセンターを開放している。 <input type="checkbox"/> 高校生の総合学習での授業を実施した。 <input type="checkbox"/> 生涯学習講座は開講していない。 <input type="checkbox"/> SNSなどの活用方法、トラブル防止のための「ITリテラシー研修」を実施。	生涯学習講座を開講していないため、課題となっている。
	10-47 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	<input type="checkbox"/> 積極的にボランティア活動を奨励している。例として、小中学生等の総合学習の実践や地域への学生サロンの提供。 また、学生が地域清掃として購読演習時間を利用し、学校付近のゴミ拾いを実施している。 <input type="checkbox"/> 活動の窓口は、て入学事務局が担当している。 <input type="checkbox"/> 活動実績は常に把握しており、企画書形式で活動概要も管理している。 <input type="checkbox"/> 活動実績は特に評価していない <input type="checkbox"/> 活動結果は学内では朝礼終礼で報告される他、メールにて職員に対し情報共有している。	年度ごとまとめてHP上で公開することを目指す。